事 業 評 価 書

補	助	ı	事	業	名	大矢野原	系演習場関	車公共用施	設(交通施	ī設:鍛冶D	末線)整備	事業			
補	助	事	業	者	名	山都町									
実		施	ţ	罗	所	熊本県」	上益城郡山	都町下名連	石						
補	町道鍛冶床線においては、幅員が2.5m程度と狭隘であり、また、コンクリート舗装の損傷が激しく、車両の通行及び離合に支障を来たしている状況である。 地域住民より要望を受け、町の総合計画審議会に諮り実施計画に計上して、今回、改良舗装工事を行うものである。調整交付金事業により事業を実施することにより、地元住民の生活基盤整備を図るとともに、大矢野原演習場の安定的使用に寄与するものである。														
	改良舗装工事 延長L=60m、幅員W=4.0m (平成23年度まで) 改良舗装工事 延長L=300m、幅員W=4.0m (平成24年度) 改良舗装工事 延長L=940m、幅員W=4.0m (平成25年度以降)											度)			
補具	補助事業の始期及び終期 平成18年度から平成27年度														
							23年度 まで	2 4 年度	2 5 年度 以降			計			
事	業 費	' 及	び交	付金	含額	事業費	円 46, 757, 000	円 27,600,000	円 74, 988, 000	円	円	円 149, 345, 000			
						交付金額	46, 227, 000	26, 932, 000	62, 341, 000			135, 500, 000			
補具	全計画区間の工事は未完了であるが、本年度は昨年度改良区間を含め 補助事業の成果及び評価 改良部の大部分について舗装工を施工したことにより、地元住民をはじ め通行者より快適性について評価を得ている。														
事今	事業の改善策及び 地域住民においては、唯一の生活道路であるため、交通止めの時期、 今後の対応期間等については、地元協議を行いながら事業を実施。														
				しての 目の有		無									

事 業 評 価 書

補	〕 助 事		事	業			原演習場関語 表興に寄与 [、]			整備事業		
補	助	事	業	者	名	熊本県	上益城郡	山都町				
実		施	ൃ	罗	所	熊本県	上益城郡	山都町	金内			
補	助	事	業 0	D 目	的	害を受ける おいて実施 施する必要 ある。 次年度以	各の関係受えることから、 あの必要性 をがあると 以降におい なことによ	、水路整備 について検 判断し、当 ては、当該	をして欲し 討したとこ 該工事に依 実施設計を	いとの要 ころ、浸水 系る実施設 を基に、調	望があり、 被害解消の 計を実施し 整交付金事	山都町に ため、実 たもので
補	助	事	業の	り内	容	実施設計 改良工事 実施設計	延長L=1,(延長L=2,(延長L=1,($000 \mathrm{m}$ ($\overline{2}$	平成24年 平成25年 平成25年	度以降)		
補具	補助事業の始期及び終期 平成24年度から平成33年度											
			び交付				24年度	25年度 予定	26年度 予定	27年度 予定	28年度 以降	
事	業 費	及て		付金	額	事業費	円 7, 264, 000	円 20,000,000	円 20, 000, 000		円 140, 000, 000	円 207, 264, 000
						交付金額	6, 800, 000	15, 000, 000	15, 000, 000	15, 000, 000	105, 000, 000	156, 800, 000
補具	助事》	業の)	成果.	及び訂	平価		完了していた の内容に対	-		, , ,		きない
事今	業 <i>0</i> . 後		善 か	策 及 対	び応	今後とも	5 関係受益	者の理解を	得ながら事	事業を実施。	,	
	者機	関の	活月	しての	「無	該当無し	一田」を担合			夕 孙 弘 7 8 4 集 1		

注:事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事 業 評 価 書

補	助	助 事 業 名		大矢野原演習場関連公共用施設 (消防に関する施設:島木暮瀬地区防火水槽)整備事業										
補	助	事	業	者	名	熊本県	上益城郡	山都町						
実		施	場	<u>ਜ</u>	所	熊本県	上益城郡	山都町	島木暮瀬	į				
補	島木暮瀬の地域住民より、集落が山間にあり、日頃から消火水利の確保に苦労していることから、地下式の耐震性貯水槽を整備して欲しいとの要望があり、山都町において実施の必要性を検討したところ、消火水利確保のため、実施する必要があると判断し、新設工事を実施したものである。 調整交付金事業で工事を実施することにより、地域住民の生活基盤の整備を図るとともに、大矢野原演習場の安定的使用に寄与させるものである。													
補	助	事	業 0)内	容	耐震性貯水槽 40t 車道用2穴ステップ付 1基								
補」	補助事業の始期及び終期 平成24年度													
							24年度					計		
事	業 費	及飞	び交	付金	:額	事業費	円 4, 479, 574	円	円	円	円	円 4, 479, 574		
						交付金額	3, 900, 000					3, 900, 000		
補」	助事	業の月	 成果》	及び評	平価	新設工事が完了したことで、地域住民から「安心して生活が送れる」との意見が多数寄せられ、地域住民の生活環境の改善に寄与することができた。								
事今			善 ぎ の	策 及 対	び応	今後とも水利不便地域住民の理解を得ながら事業を実施。								
				して <i>0</i> 月の有		1111.								

| 注:事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。